

施策 5

港の安全性・信頼性の向上



展開1 背後地域を津波、高潮から守る防護機能の強化

高潮防波堤の改良事業や防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門等の補強対策を進めることにより、津波、高潮などの海岸災害に対する防護機能を強化します。



展開2 港湾施設の計画的な更新・強化による安心・安全な港湾機能の提供

港湾施設の老朽化に対し、予防保全の観点から計画的な維持管理に取り組み、利用者へ安心・安全な港湾機能の提供を行います。



展開3 港湾施設等の耐震化による安全性の向上

港湾施設等の耐震診断や耐震補強などを行うことにより、災害時における施設の安全性の向上に取り組みます。

成果目標

指標	初期値(平成 25 年度)	目標値(平成 30 年度)
防潮壁等の機能強化を行った整備延長	0.7 km	1.9 km
老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設の数	0 件	0 件 (発生させない)

* 目標値の考え方は23ページに記載

防潮壁等の機能強化（地震・津波対策）



稲永・潮風ふ頭

対策後



凡例

- 防潮壁等
- 地震・津波対策(液状化対策)
- 計画箇所
- 整備完了箇所

主 な 事 務 事 業

高潮防波堤（改良）整備事業

高潮防波堤（知多堤、中央堤、鍋田堤）の老朽化対策として、また、大規模地震による津波や高潮被害に対する安全性を確保するため、嵩上げや補強などの改良工事を行い、背後地域を大規模災害から防護します。

主な活動・ 成果指標	事業進捗率（整備費換算）	初期値（平成 25 年度）	49.2%（累計）
		目標値（平成 28 年度完了）	100%（累計）

港湾施設等の維持補修

港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、港湾施設等の補修を計画的に進めることにより維持補修コストを低減し、予算を平準化しながら、必要な機能、安全性を確保し、長寿命化を図ります。

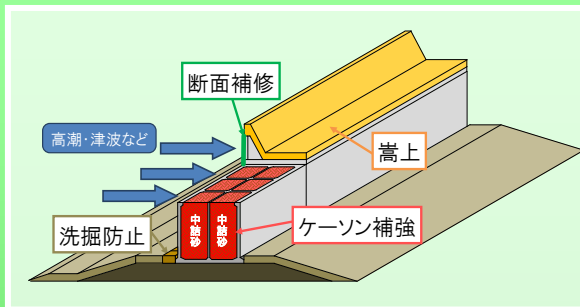
主な活動・ 成果指標	港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づく補修箇所数	初期値（平成 28 年度）	57箇所（累計）
		目標値（平成 30 年度）	165箇所（累計）

大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業

震災時の緊急物資輸送や震災後の復旧期間における貨物輸送を確保できるよう、耐震強化岸壁の老朽化対策を行い、施設の長寿命化、維持管理費の縮減を図ります。

主な活動・ 成果指標	事業進捗率（整備費換算）	初期値（平成 26 年度）	7.4%（累計）
		目標値（平成 30 年度）	82.7%（累計）

高潮防波堤（改良）整備事業



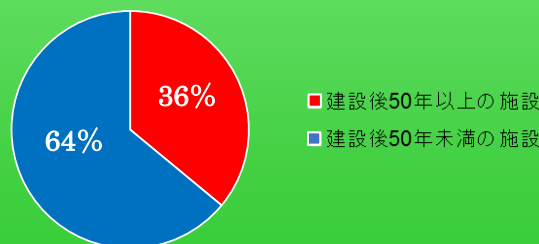
改良イメージ



改良工事

名古屋港管理組合が所有・管理する港湾施設等の老朽化の現状

平成 29 年度



港湾施設等アセットマネジメント推進計画により、計画的かつ効率的に維持管理を行っていきます。



施策
5